

元気になれるプレゼントを

南部小児童がアルミ缶回収で地域福祉活動

毎年、中川根南部小学校では環境教育の一環として、アルミ缶回収を実施。児童の各家庭や地域の人に呼びかけ、月に一度、5・6年生が中心になって活動してきました。集めたアルミ缶で貯めたお金を地域の福祉施設で役立ててもらおうと計画し毎年プレゼントしています。今年も、下長尾の「デイサービスかわね」を訪問し、お年寄りが歌を歌って元気が出るようにと、カラオケセットを贈呈しました。



デイサービスかわねでプレゼントを手渡す児童。

藤枝MYFCを応援して

同チーム監督らが佐藤町長を表敬訪問

サッカーのクラブチーム藤枝MYFCの小山淳代表と齋藤俊秀監督は3月13日、佐藤町長を表敬訪問しました。地域密着型のチームとして活躍する同チームはJFL（日本フットボールリーグ）に所属し、藤枝市を中心に活動しています。終始和やかな雰囲気です。進んだ会談で佐藤町長は「町内でもサッカーをやる子どもは多い。ぜひ子どもたちの指導役として教室などを開いてもらえたら」と話しました。



ぜひ試合を観戦してくださいと小山代表。

認知症サポーター養成研修は3月16日、川根高等学校体育館で開かれ、生徒135人と学校関係者20人が参加しました。これは認知症高齢者やその家族が、地域で安心して暮らすため、認知症の理解を深め、地域で支えていくための研修です。

研修では、地域包括支援センターの池本保健師から、認知症の症状や支援方法、認知症高齢者を地域で支える意味などを学びました。

参加した生徒からは「認知症のイメージが変わった」「祖父母に冷たく接していた自分が情けなくなった。もっとやさしくしたい」「将来、福祉の仕事に就きたいので勉強になった」などの感想が聞かれました。

地域包括支援センターと本町社会福祉協議会では、この活動を22、23年度と継続して実施。地域住民などへの理解を呼びかけています。

川根高校生徒が認知症学ぶ

包括支援センターと社協が呼びかけ研修会を開催



生徒135人などが認知症の理解を深めました。

Topics

川根本町の まちの話題



見頃を迎えたソメイヨシノや枝垂れ桜を楽しみました。

桜と笑顔が咲いた、健康の輪

春の風物詩、第17回徳山桜まつりを開催

本町徳山の町営サッカー場で「徳山桜まつり」が4月8日に開催され、多くの人出で賑わいました。

商工会徳山支部が主催する各種催しと模擬店で笑顔あふれる中、川根茶手揉み実演や県立川根高等学校茶道部の^の野点を行うなど、来場者に好評を得ていました。

そんな中で、活力を感じたのがひまわり会(青木美智子代表＝徳山)が披露した「健康表現体操」。健康づくりのため平成13年から活動しており、月2回体操に取り組んでいて、現在は35名の会員がいるとのこと。高齢者だけでなく、足腰に不安を感じるようになったら、誰でも参加できるとのこと、会員からもマッサージに行かなくても良くなったなどの声が聞かれました。

本町の高齢化率は県下で一番高い42%(平成24年4月1日)。健康で元気な高齢者が増えることは歓迎すべきことであり、これからも活力を感じていきたい。



リズム良く、歌に合わせて体を動かしていた皆さん。

この町に起こった
新鮮な「ネタ」を皆さんの元へ。
この次に登場するのは
あなたかも!?



各コートでは熱戦が繰り広げられました。

接戦の末「ミスト」が2連覇

中電杯川根地区バレーボール大会を開催

第12回中電杯川根地区バレーボール大会は3月4日、B&G海洋センター体育館で開催されました。大会には、この日のために練習を重ねてきた7チーム、73人が参加しました。朝からの雨で冷え込みが厳しい一日でしたが、体育館の中は気合のこもった声が飛び交い、終始熱気に包まれました。決勝戦は「ミスト」と「フェニックス」チームの対戦となり、接戦の末「ミスト」が大会2連覇を飾りました。



特別列車と共に歩み始めた、お二人。未永くお幸せに♡

永遠の愛を「接岨湖」で誓う

奥大井湖上駅で心温まる結婚式を開催

川根本町まちづくり観光協会が企画した、2回目となる結婚式が3月25日に開催されました。めでたく2組目のご夫婦となったのは、関東から応募いただいた小川桂輔さんと瀧口喜子さん。祝福に駆けつけた親族や友人、町民など約50人が見守る中、誓いの鐘を高らかに打ち鳴らしました。お二人のために、記念ヘッドマークを付けた井川線特別列車が運行され、川根本町ならではの心温まる結婚式となりました。